

印西市内の都市公園等における
民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査

印西市概況

アクセス



日本と世界をつなぐ



印西市への評価

自治体経営力
ランキング：
2年連続
全国第1位

住みよさ
ランキング：
13年連続
千葉県内第1位

人口増加率：
全国第3位

2023・2024自治体四季報

2012-2024 東洋経済新報
2012年～2018年までは
7年連続で全国1位

2020年→2024年：6.07%増

印西市の人口推移



子育て世代に選ばれるまち：高齢化率（R6年度）

印西市

24.5%

全国平均

29.3%



人口ピラミッド

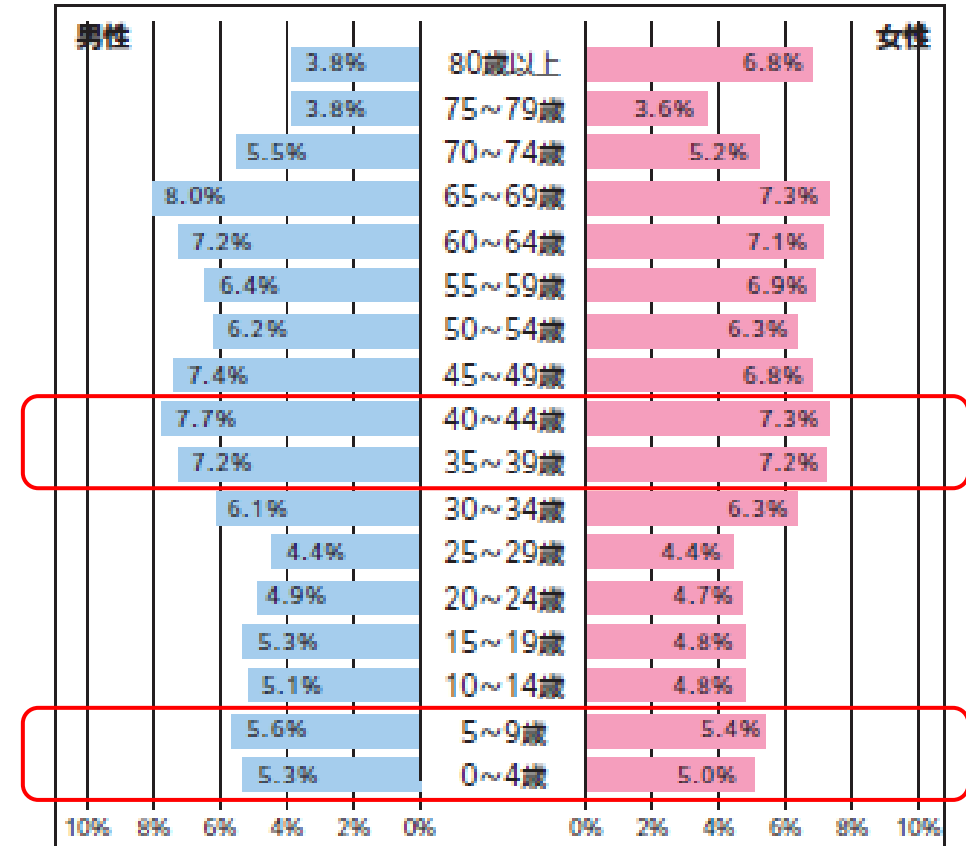
① 高齢化

② 若者の割合が低下 (15歳～20代)

③ 子育て世代の割合が増加 (30代後半～40代前半・9歳以下の子ども)



平成30年 (2018年)



(出典) 住民基本台帳 (平成 20 年は 4 月 1 日、
平成 25・30 年は 10 月 1 日時点)

(注) 平成 20 年の人口には外国人人口が含まれていません。

印西市の魅力

快適な住環境

都市と自然の
調和

大型商業施設
の集積

アクセスの良さ

東京都心へ約40キロ
成田空港へ約15キロ

災害リスク

北総台地の強固な地盤

相乗効果

知名度向上：「住みよさランキング」7年連続全国1位
(2012-2018年)

快適な住環境

利便性や自然環境に配慮しながら、電線の地中化などの災害対策も含めた安全で快適な住環境の整備を実施。



都市と自然の調和

- ・ニュータウンに隣接する場所にも、自然・里山が残されている
- ・利根川・印旛沼・手賀沼など、水に近い地域



利根川



印旛沼



都市と自然の調和

千葉ニュータウン内にも計画的に緑が配置



都市と自然の調和

住民ひとりあたりの都市公園面積は県内トップ



大型商業施設の集積

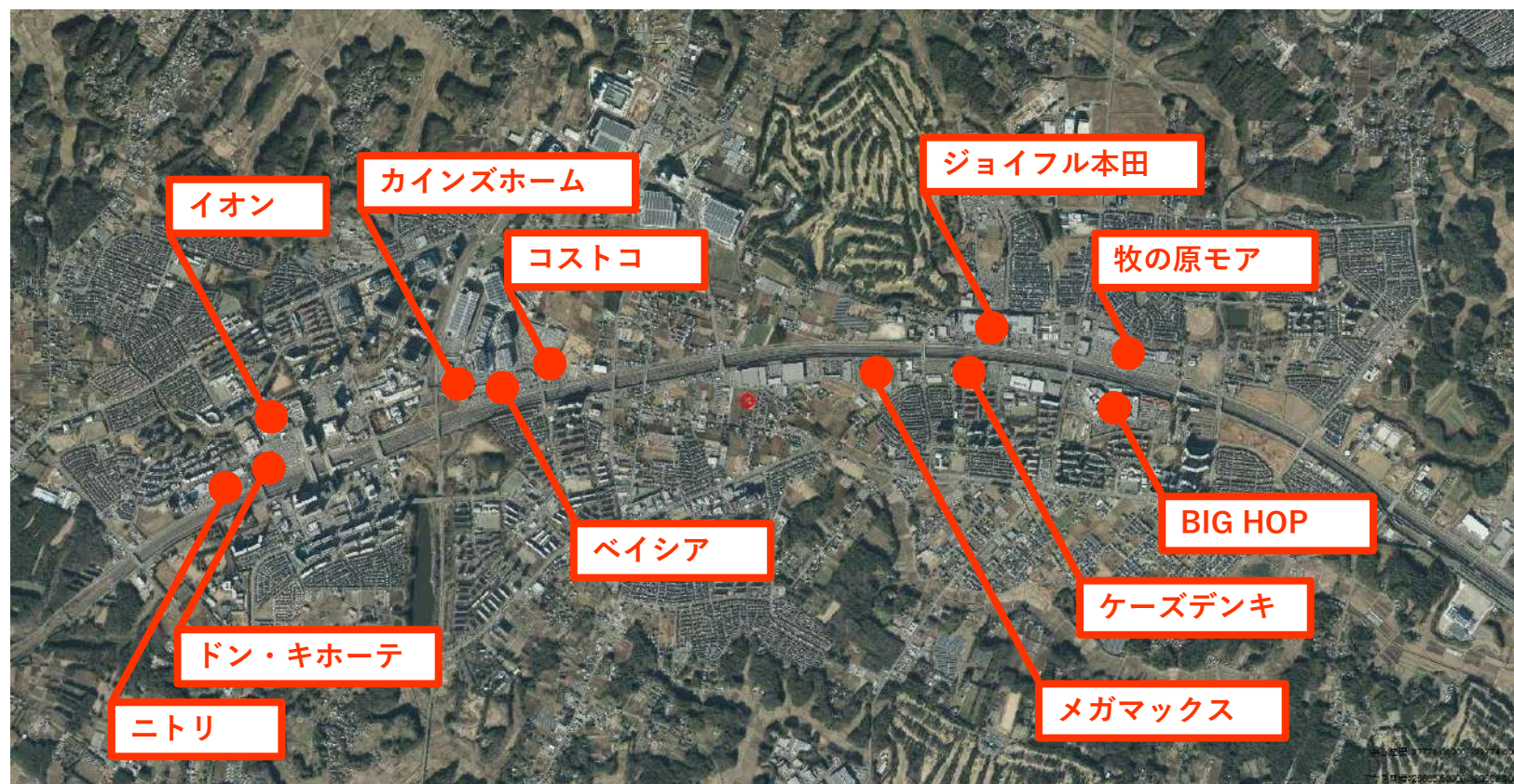
日本最大規模のジョイフル本田を含め、多数の大型商業施設が立地



イオンモール



ジョイフル本田



産業：データセンター・物流拠点の集積

都市インフラ・大規模用地の用意（業務施設用地、電力）、自然災害リスクの低さ（強固な地盤など）、成田空港と東京の間というアクセスの良さ 等を背景に、データセンターや物流拠点が集積



Google データセンター(日本初、23年開業)



グッドマンビジネスパーク
(総賃貸面積80ha超、データセンター、物流拠点が集積)

印西市が抱える主な課題

公園に遊具や設備が十分に整っていない

地域ならではの特色・個性を発揮できる場が不足

起業創業者の出店したい場所が不足

公園の維持管理費が増大

公共空間の利活用

公園等の公民連携事業の推進（Park-PPP）



- ・多様な事業活動を受け入れられる環境を整備
- ・幅広い世代が一日を通じて快適に過ごせる空間を整備

「地域の個性を育み、人が集い、新たな価値が生まれる場」